

参議院議員  
18年

# 確かな足場を持ち、安倍暴走政治と対決 政治転換の展望しめす

9人の  
首相と  
論戦



▲福島原発事故の汚染土壌中間貯蔵施設を調査 (左から3人目) 15年4月



▲偽装請負を告発(06年10月、予算委)



▲米軍ヘリ墜落現場で(04年9月)



▲「国民連合政府」提案で宗教者と懇談(15年12月)



党副委員長

## 市田 忠義

1942. 12 大阪・森ノ宮に生まれ、滋賀・五箇荘町に育つ  
63 日本共産党に入党  
67 働きながら立命館大学2部卒。繊維商社、弁護士事務所を経て龍谷大学に勤務(図書館司書)  
71 党専従。伏見地区委員長、京都府委員長など歴任  
98. 7 参議院議員に初当選(比例代表)  
2000. 11 第22回党大会で書記局長に  
04. 7 参議院議員に再選。環境委員  
10. 7 参議院議員に再選(3期目)  
14. 1 第26回党大会で副委員長に選出  
文化芸術振興議員連盟副会長などを務める

### 水俣病から 地球温暖化まで

被害者の思い、住民の願いを大切にする市田さん。水俣病、建設アスベスト、大気汚染など、すべての被害者の救済を求めて大奮闘。水俣病の市田」とも呼ばれています。びわ湖の水質環境の保全、水銀や石綿の有害物規制、食品やPCB廃棄物の対策強化、原発・石炭火力依存の温暖化対策の転換を政府に迫りました。国民の目線で論戦する市田さんは、環境問題の第一人者です。

## 環境問題の第一人者

### 原発ゼロ・再生可能エネを

原発・石炭火力依存のエネルギー政策に固執する日本政府。「脱炭素をめざす『パリ協定』合意に反する」と、原発ゼロ、省エネ・再エネへの抜本的なエネルギー転換を強く求めました。

TPPの亡国ぶりを浮きぼりにしました。

### 亡国のTPP 真つ先に追及

環太平洋連携協定(TPP)論戦に火をつけたのが2010年11月の市田質問。「それまでは私も、TPPに参加しなかったら世界に乗り遅れると思っていました。市田さんの質問を聞いて間違いだとわかりました」という声も。

### 偽装請負 告発の口火切る

労働者派遣法の縛りを免れるために大企業がやりだしたのが、偽装請負で派遣労働者を使い続けること。第一次安倍内閣での市田さんの質問が、その後続く日本共産党の派遣労働問題追及の口火となりました。

### 基地のない沖縄へ全力

沖縄の女性遺体遺棄事件。基地あるがゆえの悲劇です。沖縄国際大に米軍ヘリが墜落したとき(04年)、「25歳くらいが空から降ってきたようなもの」と、深刻さ指摘。「基地撤去は緊急課題」と迫りました。基地のない沖縄へ全力です。

### 戦争法廃止へ共同広げる

戦争法案の参議院審議入りの日、市田さんは「政府・与党がどんなに耳をふさごうとも、国民の声をささげることにはできない」とのべました。いま戦争法廃止、「国民連合政府」実現へ力を合わせようと、各界の人たちとの対話・共同を広げています。

### 日本の夜明けは 京都から

市田さんの訴えから

### 定数2、伝統の議席 大河原さん必ず

定数2、京都選挙区の議席は、河田賢治さん、神谷信之助さん、佐藤昭夫さん、西山とき子さん、倉林明子さんと受け継がれてきた伝統の議席です。いま弁護士共産党議員は仁比聡平さんだけ。39歳、正義の弁護士・大河原としたかさんが国政に必要です。



大河原さんと